

Azalea 9.5

発行所 パナソニック デバイス労働組合 長岡京支部

発行人 南 俊幸 編集人 石田秀樹 (広報)

長岡京支部 HP <http://www.pidungk.com/> (最新組合情報をアップしています!)

長岡京支部スローガン

志をともに!希望の未来へ

パナソニック デバイス労働組合 長岡京支部 第15回定期大会 開催

8月1日(金)にパナソニック デバイス労働組合 長岡京支部 第15回定期大会を開催しました。

組合の最高決議機関である支部大会には、今後2年間の運動方針を決める定期大会と、定期大会で提起した支部活動の中間報告を行う報告大会とがあります。

今回の定期大会では、「2013年度活動経過報告・決算報告」の報告と「2014・2015年度運動方針確立に関する件」、「2014年度収支予算および2015年度暫定予算の確立に関する件」、「支部規約・表彰規定の一部改定に関する件」についての審議・確認を行いました。

また、支部役員選挙が行われ、第15期・16期の新支部役員が決まりました。

支部功労表彰では毎年、ボランティア活動などを通じて地域に貢献されている方を大会で表彰しています。今年は、2000年からボーイスカウトの指導者として次代を担う人材の育成にご尽力されておられる、水口信明さんが表彰されました。

また、第13期・14期の支部役員のうち阪副委員長、越智書記長、渡邊執行委員、清水執行委員が執行部を退任されました。また峰山執行委員、大越会計監査は先日の転進支援で早期退職されていますので、任期の途中で退任されています。退任された皆さんの今後のご活躍を祈念します。

～ 大会議事 ～

報告確認事項

- (1)2013 年度活動経過報告
- (2)2013 年度決算報告

審議事項

- (1)2014・2015 年度運動方針確立に関する件
- (2)2014 年度収支予算および 2015 年度暫定予算の確立に関する件
- (3)支部規約・表彰規定の一部改定に関する件

支部役員選挙(提案・投票)

2014 年度支部功労表彰

組織内議員活動報告

ご来賓の方々



パナソニックデバイス労組
中嶋 副中央執行委員長



電機連合 京都地協
白木 副議長



長岡京市
小田 市長



民主党
泉 衆議院議員



高槻市
久保 市議会議員

大会役委員の方々



大会書記長
三村 執行委員



議長団
梅村 代議員、広瀬 代議員



資格審査委員長
石飛 代議員



議事運営委員長
穂積 代議員



中村 選挙管理委員長

今月の もくじ

1. パナソニック デバイス労働組合
長岡京支部 第15回定期大会開催報告・・・P.1～P.4
2. 7月度経営概況・・・P.4
3. 進藤ひろゆき活動報告・・・P.5

4. 「第40回京都市立夏季子どもキャンプ」
ボランティア参加報告・・・P.6
5. 自分のできる「フォーカシング」でココロ磨きをしよう・・・P.7
6. ショップニュース・・・P.8

南執行委員長の挨拶(抜粋)

第15回長岡京支部定期大会に、猛暑の中ご参集いただきました大会代議員の皆さんありがとうございます。定期大会冒頭のあいさつは、3つのキーワードを入れながら話をします。

<2年間の振り返り・キーワード「生々流転」>

早いもので一昨年の定期大会で半導体支部から長岡京支部に名称を変えてから2年が経過をしました。

2年前に半導体労組が解散し、半導体事業を含むパナソニックのデバイス事業に携わる19支部の一員として、新たなデバイス労組の枠組みの中で、運動活動を推進してきました。とりわけ、半導体事業に携わる6支部の中核的支部として、経営政策・労働政策といった働く環境の改善や社会改革・ライフサポート活動といった生活する場の改善と気づきの提供、そして、その活動を一丸となって進める組織政策など、「ワーク・ライフ・バランスを基軸とする」運動活動を、「笑顔で元気と活力を!」というスローガンもと、皆さんと共に取り組んでまいりました。

しかしながら、この2年間、我々を取り巻く世界や日本の経済・社会、そして電機業界、その中でのパナソニックと我々半導体事業と言ったどの切り口でみても、一つ目のキーワード「生々流転」という言葉のように、日々様々な問題や課題が発生し、将来への不安を抱えながらも、常に変化し続けております。特に、パナソニックとしては厳しい経営実態の中で、昨年、事業再生・復活を目指して4カンパニー体制と事業部制が導入され事業部基軸の経営へと大きく変化し、様々な改革と経営対策が実行され2年連続の巨額な赤字経営から脱却を果たすことができました。しかしながら赤字脱却の主な要因は、従業員に対する特別経営施策や退職年金制度の見直しや不採算事業における事業構造改革や資産の売却などの施策であり、事業そのものの本業の力強さということでは、まだまだ予断を許さない厳しい状態にあります。半導体事業においてもこれまでにない抜本的改革として、強みを活かす「事業の改革」と、強みを引き出し強化する「構造の改革」を同時並行で進めることは、従来の延長線では極めて実現が難しかった事業の存続とそれによる雇用と将来に対する安心につながる道筋をつけるものと理解し、全員で厳しい改革に立ち向かい、取り組んできました。

今年の4月には、パナソニック・タワーージャスセミコンダクター株式会社が設立され、6月にはセミコンダクター事業部とPIDDSC・PIDOSCを一体化したパナソニック セミコンダクターソリューションズ株式会社の設立とアジアの組立工場のUTAC社への売却が行われました。形としては、その3社が常に連携しながらパナソニックの半導体事業を行っていく、業界初の半導体ビジネスモデルとなりました。

一方で、今回の改革で従業員全員がそれぞれの人生に向き合い、悩み、苦渋の決断をする中で、半導体事業グループからも多くの仲間の方々が新たな道を歩まれることとなりました。また、再配置や外部への出向なども発生し、それぞれの道において、鋭意ご活躍をいただいている状況であります。しかしながら、改革で求めた事業の確からしさや運営面においては、まだまだ、十分とはいえない状況であり、各職場での大小様々な問題や課題を顕在化させて対策や改善を進めながら事業の確からしさを高めていく必要があります。

組合としても、その職場課題を集約し繋ぎ合わせて、マネジメントや風土改革に繋げ、組合員が事業の成長に向けてより力を発揮し易い環境になるよう、取り組みを進めていきますので、引き続き皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

<労働組合の変化と対応・キーワード「不易流行」>

先月7月に行われた祇園祭は、869年 平安時代に疫病退散を祈願して行った行事が起源です。今年は、17日の前祭りから7日後の24日に、49年ぶりに後祭りが復活したことや幕末の蛤御門の変で焼失した大船鉾が150年ぶりに巡行されました。50年前の時代背景の中で、統合された祭りが、祭り本来の意図に沿った形に戻すという、志をもって、祭りに関わる方々の努力と周りの支援によって復活がなされたわけです。物事の原点には始まりの本質やその価値があると思います。

しかし、時代とともにその原点を見失い、効率化などにより、物事をするだけが目的化してしまっているケースが多いのではないかと思います。ここで2つ目のキーワードですが、松尾芭蕉が提唱した「不易流行」という言葉がございます。不易とは、「時代が変わっても、変わらない価値」、流行とは、「時代とともに変わる価値」を意味しています。この不易流行を企業経営や労働運動に置き換えて考えてみると、そのキーワードは「継続性」と「変革性」ということであり、残し伝えるべきものはしっかりと残し、変えるべきものは勇気をもって変えることによって企業や組合は継続・発展することができるということだと思います。

今私たちは、「厳しさ」と「難しさ」の混在する中で事業を営んでいます。「厳しさ」を克服するには、「原点回帰」することが必要です。これは変えてはいけな自分たちの価値を知ることにあります。今回の改革で、自分たちの強み弱みを見極め、自分たちの価値を見出し、転地を目指すこととしたことが「不易」にあたると思います。

一方、「難しさ」を打開するには、「前例を打破する」ことが必要です。これは、変えなければいけないことを「断行」ということであり、まさしく「流行」にあたると思いますし、そのスタートが今であります。その不易と流行の価値観を合わせ、全員が一丸となって取り組むことで必ず未来は開けると確信しています。

労働組合としても、その不易流行を運動活動に活かしながら、会社発展とともに組合員の将来に対する安心に繋がっていきたいと考えております。



南 執行委員長

<運動方針・キーワード「温故知新」>

我々の労働組合の原点、不易とは何なのか、そこで、3つ目のキーワード「温故知新」という言葉がありますが、古きをたずねて新しきを知るという意味であります。我々の労働組合にとっての不易とは、「豊かに生きる」という運動理念と「個を高め、企業社会を動かす」という使命だと考えます。

今回の大きな事業構造改革の経験を次なる革新へと繋げていくためには、労働運動の原点に立ち戻り、労働組合らしさを取り戻し、組合員とともに将来の安心を実現するべく、今に即した新たな組合の価値を創り上げて行くことが必要だと思えます。そのようなことから、我々の理念や使命を組合員の皆さんと改めて共有化し、志を合わせて、職場対話会や職場運営委員会を徹底推進していきたいと考えております。

<組合組織の再構築>

一方で、PSCSとなって会社は1つになりましたが、生い立ちも含めて異なる文化・風土や労働条件を持つ3つの会社が1つになり、労働条件をそれぞれ継承したことから、1社3労組の状態となっており、将来的に1社1労組を念頭に、労働組合のあり方や労働福祉条件の論議検討を双方の価値観も合わせながら、また皆さん方にも参画いただきながら行ってまいりたいと考えておりますので、ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

<スローガン>

いずれにいたしましても、我々、厳しい改革を経て新たなスタートラインに立った者同士、お互いの力を信じ、そして、絆を強め、一丸となって必ず事業を成長させるとともに、将来の安心を実現させるという「志」をともにして頑張りたいと思えます。そのような思いを、「志をともに！希望の未来へ」というスローガンに込めて、活動を進めて参りますので、皆さんの積極的な参画をお願い申し上げて、第15回の定期大会にあたっての挨拶とさせていただきます。共に頑張りましょう！

- 第15期・16期 支部活動スローガン -

志をともに！希望の未来へ

今期で退任された方々



阪 副委員長



越智 書記長



渡邊 執行委員



清水 執行委員

支部特別執行委員の方々



大西 芳秀
連合京都副事務局長



呉川 昌弘
電機連合京都地協
事務局長



進藤 裕之
長岡京市議会議員
(組織内議員)



水口 信明さん
(グローバル品質保証センター)

支部功労表彰

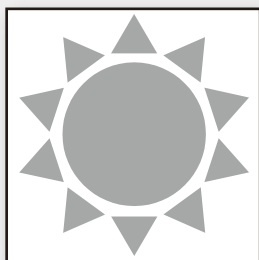
パナソニック デバイス労働組合 長岡京支部 新役員体制



上段左より 執行委員 石田秀樹、宮本慎一郎、特別執行委員 進藤裕之、執行委員 松本憲一、庄田元紀、檜岡浩喜(右上円内)
中段左より 書記 栗田千珠子、執行委員 佐藤嘉展、清瀬景之、三村眞充、小谷壽太郎、書記 雨森美澄
下段左より 書記次長 村上大樹、副執行委員長 吉井英喜、執行委員長 南俊幸、副執行委員長 西原竜二、書記長 七里大介

7月経営概況

★6月1日のPSCS社発足に伴い、掲載するBU名が変更になっています。



PSCS



半導体BU



車載モジュールBU



電子部材BU



システムLSI

★3つのマークの意味は



売上計画に対して100%以上
なら晴れマーク



売上計画に対して95%以上
100%未満なら曇りマーク



売上計画に対して
95%未満なら雨マーク

進藤ひろゆき活動報告

地方議員研究会主催のセミナーに行ってきました。

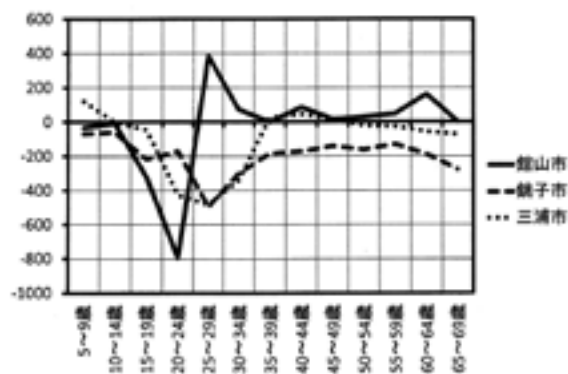
根本祐二 東洋大学経済学部教授を講師とする地方議員研究会主催のセミナー「地域はどう評価されているかー客観的地域分析手法への招待ー」へ行ってきました。

根本教授の経歴を紹介しますと、鹿児島市の出身で、東京大学経済学部卒業後、日本開発銀行(現日本政策投資銀行)に入行され、同行地域企画部長を経て、2006年に塩川正十郎 東洋大学総長が同大学に修士課程の公民連携専攻立ち上げる際に転籍され、現在は、東洋大学経済学研究科公民連携専攻長、PPP研究センター長を兼務されています。著書には「朽ちるインフラ」、「豊かな地域はどこが違うのか」、「公民連携白書」(共著)などがあり、内閣府PFI推進委員会委員、国土交通省社会資本整備審議会社会資本メンテナンス戦略小委員会委員なども兼務され、幅広い領域で活躍されています。

地球規模での地域間競争にさらされている地方自治体が、この地域間競争に勝つためには、人口増加、観光集客、企業誘致などをしていく必要があります。しっかりとした地域政策を策定して、地域という商品を、人や企業という消費者に販売した時に買っていただくためには、その商品である地域に客観的な魅力付けが必要です。そこで今回の研修では、まず地域分析手法としての“コーホート分析”について学んできました。

この“コーホート分析”は、5歳刻みの年代の社会移動を見るために、5年毎に行われる国勢調査のデータを基にして、その年のある世代の人口から、5年前の5歳下の人口を引き算して5年間の社会移動(死亡などの自然減少分を含む)を見るものです。この値がプラスであれば社会増、マイナスであれば社会減を示しており、つまりは同級生が何人増減したかという意味を表します。人間は人生において何らかのイベント(子どもの進学や就職、子育て場所の選択、マイホームを買う、定年退職など)があるときに居住地を移動するため、年齢別のプラスマイナスをグラフにすることで、その地域の特徴をつかむことができます。

研修では多くの事例紹介がありましたが、ここでは関東圏で主に漁業が盛んな市として考えられる千葉県銚子市と館山市、神奈川県三浦市の3市の分析事例を紹介します。このグラフから、銚子市は高校生・大学生・就職期に大量流出するなど全年代でマイナスになっており、学校や仕事場が少なく定住の魅力が乏しいこと、三浦市は高校生・大学生・就職期に大量に流出するが、30・40歳、5〜9歳がプラスになっており、30代中盤以降のファミリー層のU・Iターンが推測されること、館山市も高校生・大学生・就職期に大量に流出するが、25〜29歳代で大幅にプラスになって、その後もプラスを維持しており、若年世代・中高老年世代を通じて雇用機会が存在することなどが推測されます。



コーホート分析事例
(2005～2010年/銚子市・館山市・三浦市)

次に、どうしてこのような人口移動が発生するのかを分析するための“従業通学分析”についても学びました。この“従業通学分析”は、国勢調査のデータを基にした昼夜間人口比率、従業通学者比率、流出比率、流入比率と、経済センサスのデータを基にした産業別従業員数比率を、それぞれ全国平均と比較することで、その地域の産業の特徴を分析するものです。この産業別従業員数比率によれば、館山市は水産関連産業のウエイトが三浦市と館山市に比較するとかなり低く、現状では魚と関係がない市になっており、さきほどの人口コーホート分析を裏付けるデータが得られていました。

今回学んだ分析手法を活かして、「誰もが住みつけたい長岡京市」の実現へ向けた政策提案をこれからも行ってまいります。この地域分析手法に興味のある方は、根本教授の著書を参考にしてください。

皆さまがお住まいの地域での暮らし改善として、暮らしにかかわる困りごとがありましたら、どんなことでも結構ですので「暮らし相談」へお気軽にご相談ください。長岡京市以外の自治体においてもPGU組織内議員団の仲間や、電機連合・連合の組織内議員、民主党の友好議員が全国にいますので、「暮らし相談」への相談内容は、どこの地域やどのような内容でも、まずは「進藤ひろゆき」まで連絡してください。相談については毎月定例の暮らし相談会だけでなく、いつでも結構ですので下記連絡先までお願いします。

暮らし相談連絡先

PHS 7-664-6914 (直通)
アドレス shindou.hiroyuki@jp.panasonic.com



第40回京都中立夏季 子どもキャンプ

ボランティア参加報告



8/22(金)～23(土)に「京都中立クラブ夏季子供キャンプ」に長岡京支部から3名がボランティアメンバーとして参加しました。この取り組みは、親からの虐待等により両親とともに生活できず、児童養護施設で暮らしている子供たちに、「ユニトピアささやま」での1泊2日のキャンプをプレゼントするものです。今年は第40回を数えます。年1回の取り組みなので、40年間も続いている計算になります。

子供たちは、乳幼児(1～2歳)から高校生まで年齢層が幅広く、年に1度のこのささやままでのキャンプを非常に楽しみにしているとのこと。京都に拠点を置く、様々な業種の労働組合からのボランティアが集まり、子供たちと一緒に遊べます。今年は長岡京支部からは学童班の担当2名、乳幼児班の担当1名の合計3名でボランティアに参加しました。子供たちは約60名、引率の先生が約30名、各労働組合からのボランティアが約50名の大所帯です。

キャンプ前日までは凄く暑い日が続いていましたが当日の朝の天気は曇り。それでも、ユニトピアささやまに着いたら皆でおいしいお弁当を食べ、午後からはプールで遊びました。ボール投げをしたり、水鉄砲で打ち合ったり、皆で大はしゃぎです。途中で、美味しいお芋のおやつを食べ、時間ギリギリまで楽しみました。子供たちがプールで遊んでいる間に、キャンプ場では設営班のボランティアが、綺麗な飾りつけと晩御飯の準備をしてくれています。夜は、京都ホテルの労働組合のボランティアが担当。ボランティア参加とはいえ、ホテルの本物のシェフです。キャンプ場での食事とは思えないおいしくて豪華な食事をお腹いっぱいいただきました。子供たちも毎年キャンプでのご飯が楽しみなようで、ますますテンションが上がってきています。

夕食の後は、広場へ移動して花火大会。しかも、今回は40周年記念として花火の前に、大道芸人を呼んで風船パフォーマンスがあります。軽快な音楽に載せて、ミッキーマウスやスヌーピーなど、様々なキャラクターが風船で出来上がります。大人も子供も大興奮。鮮やかな風船パフォーマンスに見とれていました。そして、最後の風船パフォーマンスが終わった瞬間、数滴の雨が。これぐらいの雨だったら何とか次の打ち上げ花火は出来るかなと、思っていたところ、あっという間に豪雨に変わり皆で木の下に一時避難。10分ぐらいたって弱まる気配もなく、残念ながら撤退の判断が事務局から発信されました。そうは言っても、豪雨の中、キャンプ場のエリアに戻るのも一苦勞。そこで、先ほど風船パフォーマンスのときに下に引いていた大きな大きなブルーシートを、皆で担ぎ上げ傘代わりにして、えっちらおっちら帰りました。乳児の子供たちは事務局の車でキャンプ場まで運び、なんとか戻ることが出来ました。雨になりましたが、皆で大きなブルーシートを抱えて歩くと言うことに、小さい子供たちは逆に新鮮で大はしゃぎ。あんまりはしゃぐと足元が暗くてぬかるんでから、危ないと先生に何度も注意されていました。残念ながら夜のイベントはこれにて終了。楽しみにしていた花火は中止になりました。それでも、元気な子供たちはボランティアの方々と寝までの少しの間でも、時間を見つけて楽しく遊んでいます。雨にはなりましたが、その分、皆で工夫して遊んでいました。

次の日は天候は回復しましたが、前日の雨の影響で広場のグラウンドがぬかるんでいるため、屋内での活動に変更。大きなホールでバレーボールで元気一杯楽しみました。乳幼児はその間は、縁日体験。ボランティアの方が用意してくれた輪投げやスーパーボールすくいをして楽しめます。お昼は、毎年恒例の流しそうめん。この頃になると太陽も上がり気温も上昇。昨日の雨が嘘のような天候の中で、冷たくて美味しい流しそうめんを、たくさん食べました。

最後に、閉村式として子供たちが歌を歌ってくれたり、メッセージを読んでもくれました。乳幼児も高校生もみんなで練習した来たと言う歌を聞かせてくれて、ボランティアで参加した我々も感動で少し涙ぐんだり。

虐待等で親と一緒に過ごせない子供たち、施設で共同生活する子供たちではありましたが、キャンプの中ではそういったしぐさも見せず、元気一杯でした。ただ、ちょっとしたことで寂しげな顔を見せる子供もいたり、考えさせられる一面もありました。

雨が降ったりといろいろ大変なことがありましたが、また来年もあの子供たちの笑顔を見に行きたい!と感じるボランティアキャンプでした。



クリアリング・ア・スペース

仕事で行きづまったとき、私たちは頭の中にあるイメージやアイデアを文字や図に起こして可視化したり、ミクロからマクロの視点で俯瞰的に捉え直す作業を行ったりします。あることにとらわれ過ぎていたり、その問題にすっかり巻き込まれてしまっているときは、このように問題から距離を置くことで偏ったり凝り固まった思考に気づき、再び頭の中を整理することができます。

ここでは、体の感覚を使って行う心理療法の一つ「フォーカシング」の中で、気がかりとなっていることから距離を置く「クリアリング・ア・スペース」という手法をご紹介します。例えば先に紹介したような仕事で行きづまっていることから、普段はすっかり忘れてしまっているけれどじつは前から気がかりだったことを、体の感覚を使うことで、さまざまなレベルの気がかりにフォーカスすることができます。日常で起こるさまざまな出来事は、複合的に絡み合っている私たちの行動や心のもちように影響を及ぼします。気がかりから一時的に距離を置くだけで、気分が落ち着いていくのを体験してみましょう。



プログラムの進め方

リラックスできる場所・環境で行いましょう。

- 1分くらいかけてゆっくり深呼吸をします。
- 頭を前に倒して軽く目を閉じます。そして、「最近どんなことが気になっているか？」と自分の内面に向かって自問します。
- 頭に浮かんできた気がかりに対して、「たいしたことはない」と否定したり、「これはこうしないと」など深く考え込んだりせず、「あ～、こういうことが気になっていたな」と確認だけします。
- いくつかの気がかりが思い浮かんだら、その中の一つを選んでみます。
- 選んだ気がかりをイメージしたとき、どんな感じがしますか。例えば「ソワソワ」「ドキドキ」「イライラ」など。

次にそのイメージに合った置き場所を頭の中で思い浮かべます。机の引き出しや、鍵のかかる箱、遠くの山や海岸でもいいです。

プログラムを振り返る

プログラムが終わったら、体の感覚を味わってみましょう。気がかりから距離を置くイメージ作業をしたのですが、「スッキリ」したり「ホッ」としたり、心にゆとりができていませんか。また、これまで気づかなかった感情や解決方法が浮かんだ方もいるかもしれません。特に毎日が慌ただしく、物事や気持ちの整理ができないまま過ごしているような方にとって、この「クリアリング・ア・スペース」を行うことで落ち着きを取り戻せたり、方向性を見出せたりするのでお勧めです。イメージすることに違和感を覚えたり、難しく感じる方がいるかもしれません。その場合は、メモ帳に書き出したりしながらイメージを補ってもよいでしょう。うまくできなかった場合は、気がかりをただ認めるだけでも気分は違ってきます。普段は意識していない気がかりと向き合うため、心苦しい思いをする方がいるかもしれません。今回のような作業を進めたい場合は、個別のカウンセリングで行うこともできます。

とりあえず……と机の端に山積みになった書類。目を背けていたそれらに目を向け、整理することで、スッキリしたという経験がある方も多いでしょう。今回ご紹介したプログラムは気がかりに付随する感覚を「意識化」し、ふさわしい置き場所に「整理する」ことで、問題と距離を置くものです。まさに山積みの書類を整理してスッキリさせるプロセスです。この効果は、パフォーマンスの向上やその持続性も認められています。日々のちょっとした隙間時間、例えば週始めや終わりの時間に自分の気がかりを振り返ってみてはいかがでしょうか。





2014 生活応援セール



おなじみの生活必需品を全品ご奉仕価格で販売卸問屋直売！
掘り出し物満載！新製品もご奉仕価格！

商品はまだまだ
沢山ございます！

日時
場所

9/25(木) 11:00~18:00 厚生棟 1F

9/26(金) 11:00~18:00 テクノ棟食堂前

前回売上 **第1位!**

トップ ハイジア 詰替

参考価格 298 円

セール価格 200 円

前回売上 **第2位!**

アロマリッチ 詰替

参考価格 298 円

セール価格 200 円

前回売上 **第3位!**

トップ NANOX 詰替

参考価格 298 円

セール価格 200 円

※商品は十分に取揃えておりますが、売り切れの際にはご容赦ください！

その他の商品など詳しい情報は、ショップまで

Azalea アンケートのお願い

よりよい紙面づくりを目指し、皆様からの声を紙面に反映させていきたいと思ひます。

ご応募いただいた方から
「半年に1度」抽選にて
パナソニック製品などを
進呈します。

○今月のアンケート締め切り：2014年 9月 30日(火)

○応募方法：応募用紙を組合窓口の抽選箱へ入れていただくか組合役員へ
お渡し下さい。応募用紙の内容はメールでも受付けております。
メールでの応募は下記アドレスへお送り下さい。

E-mail: pidungk_kouhou@ml.jp.panasonic.com

応募期間

2014年 4月号～2014年 9月号 抽選：2014年 10月上旬

切り取り線

応募用紙

興味を持った記事2つに
チェックしてください。

- ☐ パナソニック デバイス労働組合 長岡京支部
第15回定期大会開催報告 1
- ☐ 7月度経営概況 2
- ☐ 進藤ひろゆき活動報告 3
- ☐ 「第40回京都市立夏季子どもキャンプ」ボランティア参加報告 4
- ☐ 自分のできる「フォーカシング」でココロ磨きをしよう 5
- ☐ ショッピングニュース 6

ご意見、ご感想

お名前

担当職場統括委員

担当職場委員